

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : エアコン洗浄プロ 808 スライム抑制剤

化学品の推奨用途 : ドレンパンのスライム抑制剤

整理番号 : SDS 74-54

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : コーイング株式会社

住所 : 名古屋市中川区伏屋 1-807-1

電話番号 : 052-431-9070

FAX 番号 : 052-431-9071

作成年月日 : 2021年 5月 26日

改訂年月日 : 2022年 5月 2日

2. 危険有害性の要約

<GHS 分類>

本品に関する信頼性のあるデータが不足しているため、GHS 分類ができず、現時点で物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性の全項目は「区分に該当しない」もしくは「分類できない」である。

ラベル要素

絵表示又はシンボル : 非該当

注意喚起語 : 非該当

危険有害性情報

皮膚や粘膜に高濃度で長時間または繰り返し接触した場合、軽微な刺激性と炎症を起こす恐れがある

誤飲により嘔吐、吐き気を催すことがある。

注意書き

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

換気の良い場所でのみ使用すること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

環境に対して悪影響のおそれがあるため、環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：直ちに口をすすぎ、無理に吐かせないで、医師の手当てを受ける。

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに多量の水で15分以上洗い流し、痛みのある場合は医師の手当てを受ける。（衣服にかかってしみこんだ場合も同様の処置を行う）

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、なお気分の悪い場合は速やかに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合：こすらず、直ちに流水で15分以上まぶたの裏まで洗眼し、すみやかに医師の手当てを受ける。

【保管】

直射日光を避け、密閉して冷暗所に保管する。

【廃棄】

内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分及び含有量

成分名	含有量 (wt%)	CAS No.	化審法 No.
有機窒素系化合物	非公開	非公開	非公開
合成樹脂	非公開	非公開	非公開
顔料	非公開	非公開	非公開

4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、なお気分の悪い場合は速やかに医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合：直ちに多量の水で15分以上洗い流し、痛みのある場合は医師の手当てを受ける。（衣服にかかってしみこんだ場合も同様の処置を行う）
- 眼に入った場合：こすらず、直ちに流水で15分以上まぶたの裏まで洗眼し、すみやかに医師の手当てを受ける。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
- 飲み込んだ場合：直ちに口をすすぎ、うがいをし、多量の水または牛乳を飲ませる。無理に吐かせない。医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤：情報なし
- 特有の危険有害性：情報なし
- 特有の消火方法：製品自体に引火性はない。
周辺火災の場合には、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
- 消火を行う者の保護：適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項, 保護具 : 作業の際には適切な保護具(保護手袋、保護マスク、エプロン、及び緊急時措置ゴーグル等)を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 環境中への流出を避ける。
- 封じ込め, 浄化の方法及び機材 : 漏出液はできるかぎり回収し、回収できなかったものは廃棄上の注意にしたがって処理する。
濡れると、床は滑り易くなるので気をつける。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- ・皮膚及び目を保護するために、また吸入を防ぐためゴム手袋、保護マスク（及び保護眼鏡等をつけること。
 - ・容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加えたり、引きずったりしないこと。
 - ・取扱後は身体・手・口・眼・顔をよく洗う。作業着に付着した場合は着替える。
- 保管
- ・容器は直射日光を避け、密閉して冷暗所に保管する。
- 容器
- ・ポリエチレン製容器

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 知見なし
- 許容濃度 : 知見なし
- 設備対策 : 作業場の近くに洗顔器、安全シャワーを設置する。
- 保護具 : 保護メガネ・保護マスク・ゴム手袋・保護前掛け・保護靴

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 灰色
- 臭い : 特異臭
- 融点/凝固点 : データなし
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
- 可燃性 : 不燃性
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
- 引火点 : データなし
- 自然発火点 : データなし
- 分解温度 : データなし
- pH : データなし
- 動粘性率 : データなし
- 溶解度 : 水に任意の割合で溶解
- n-オクタノール/水分分配係数 (log値) : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 密度及び/又は相対密度 : 1.03~1.13
- 相対ガス密度 : データなし
- 粒子特性 : データなし

1 0. 安定性及び反応性

反応性	: 知見なし
化学的安定性	: 通常の取扱い条件では安定である。
危険有害反応可能性	: 知見なし
避けるべき条件	: 日光、熱
混載危険物質	: 知見なし
危険有害な分解生成物	: 知見なし

1 1. 有害性情報

急性毒性	: 経口 データ不足のため分類できない。 経皮 データ不足のため分類できない。 吸入: 気体 区分に該当しない(分類対象外)。 吸入: 蒸気 データ不足のため分類できない。 吸入: 粉じん、ミスト データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない。
発がん性	: データ不足のため分類できない。
生殖毒性	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	: データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	: データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 長期(慢性)	: データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	: データ不足のため分類できない。
生体蓄積性	: データ不足のため分類できない。
土壤中の移動性	: データ不足のため分類できない。
オゾン層への有害性	: データ不足のため分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

- ・可燃性溶剤と混合して、スクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。
- ・知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

汚染容器及び包装

- ・容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。
- ・空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	:	該当しない。
品名	:	該当しない。
国連分類	:	該当しない。
容器等級	:	該当しない。
海洋汚染物質	:	該当しない。
MARPOL 73/78附属書II及びIBCコード	:	該当しない。
によるばら積み輸送される液体物質		

国内規制

海上規制情報	:	該当しない。
航空規制情報	:	該当しない。
陸上規制情報	:	該当しない。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 : ・運搬に関しては容器に漏れない事確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

・栓のあるところを上にして積載する。

緊急時応急措置指針番号※ : 該当しない。

※ 北米緊急時応急措置指針に基づく。米国運輸省が中心となって発行した「2008 Emergency Response Guidebook (ERG 2008)」(一般社団法人日本化学工業協会によって和訳されている(発行元:日本規格協会)に掲載されている。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	:	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (P R T R法)	:	非該当
毒物及び劇物取締法	:	非該当
消防法	:	非該当
港則法	:	非該当
航空法	:	非該当
船舶安全法	:	非該当
水質汚濁防止法	:	非該当
大気汚染防止法	:	非該当
海洋汚染防止法	:	非該当
土壌汚染対策法	:	非該当

1 6. その他の情報

引用文献

- ・化学物質総合情報提供システム(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
- ・原料のSDS
- ・JIS Z 7252 : 2019
- ・JIS Z 7253 : 2019

責任の限定

本記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用してください。ここに記載した GHS 分類区分の算出根拠は、現時点における日本公表データです。

なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。